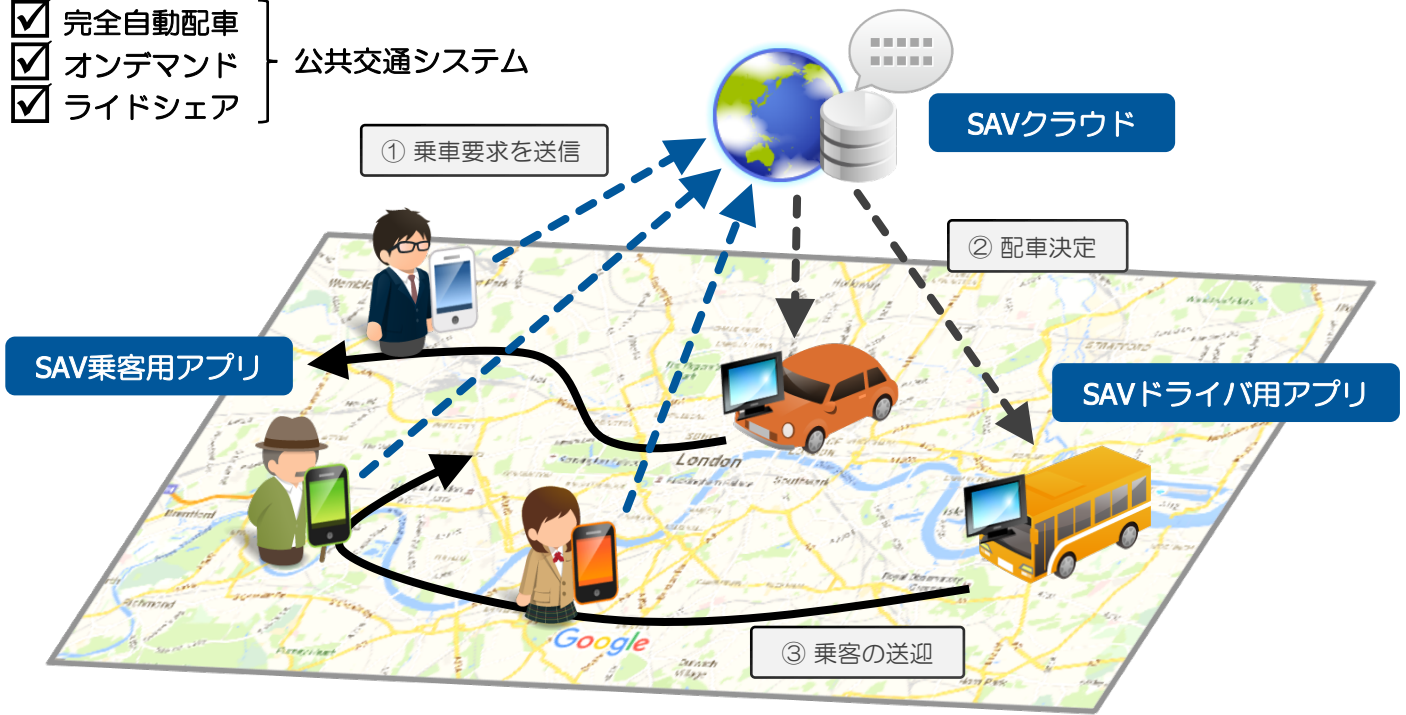


Smart Access Vehicle

- ☑ 完全自動配車
- ☑ オンデマンド
- ☑ ライドシェア

公共交通システム



SAVとは、タクシー（デマンド型）と路線バス（乗合い型）の長所を融合した、ルートを固定せず需要に応じて乗合い車両を走行させるシステムです。

スマートデバイス（IoT）とクラウドプラットフォームをベースとしたアプリケーションが通信し、人工知能（AI）がリアルタイムに車両の最適な走行ルートを決定。この技術により、需要に即した乗合い車両の配車決定を完全自動（無人）で行うことが可能となります。

スマートデバイスアプリ画面イメージ



SAV乗客用アプリ

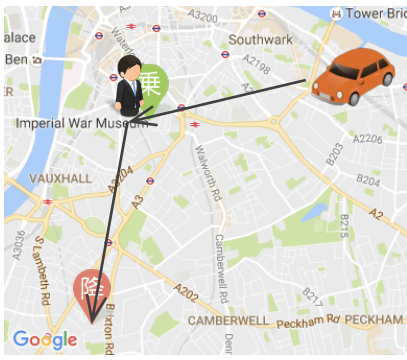
スマートフォンの専用アプリにて乗車位置、降車位置をセットして配車を要求。SAVクラウドがお迎え到着予定時刻をお知らせします。



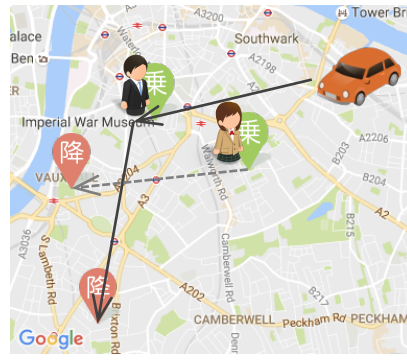
SAVドライバ用アプリ

SAVへ搭載されたAndroidナビゲーションアプリへ迎車の指令と行き先の指示が届きます。配車はSAVの現在位置や空席状況を元に、SAVクラウドが全て自動で決定します。

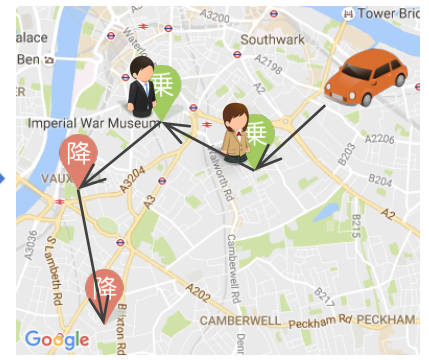
オンデマンド・リアルタイム乗合い配車決定



乗車要求発生時のSAVの
走行予定ルート

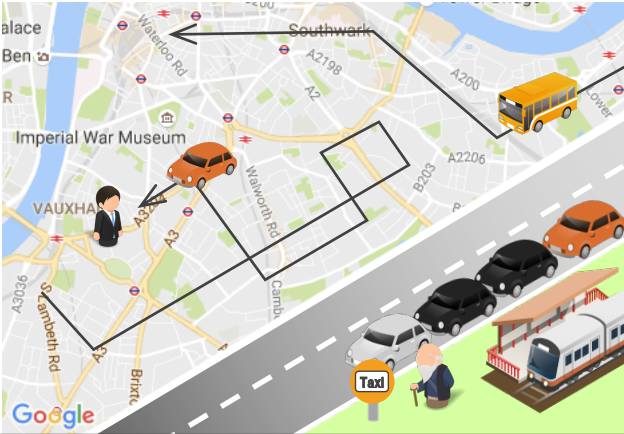


走行予定ルートに近い
別の乗車要求発生



リアルタイムに走行予定
ルートを変更

SAV導入により期待できる効果

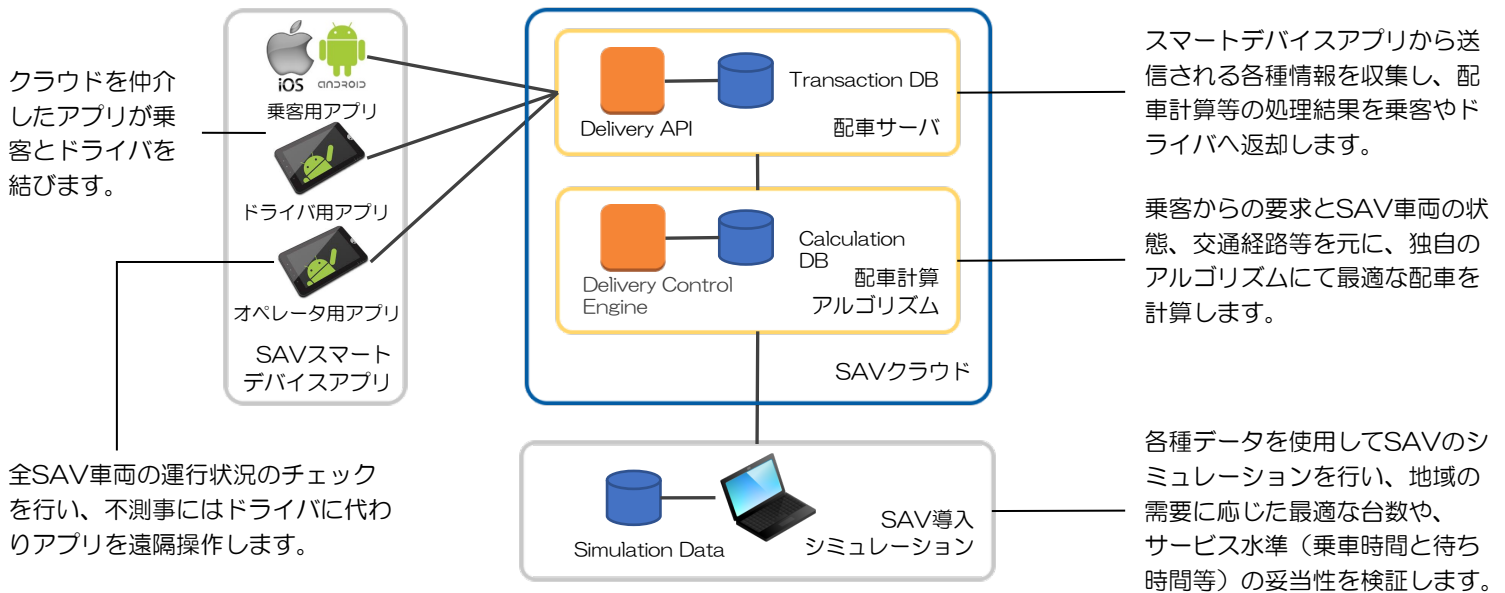


- 乗客のないまま走行を続けるタクシー、バス
- 長時間の順番待ち、客待ちを続けるタクシー



- 最短経路、乗合い配車による高移送効率
- 予約時刻に迎車、乗車要求に即した配車

システム構成イメージ



SAV 研究・開発の背景、実績

- 2001年：産業技術総合研究所にてデマンドバス配車シミュレーションの研究に着手、その後公立はこだて未来大学にて研究を継続
- 2011年：「NPO法人スマートシティはこだて」発足、社会実証実験を推進
- 2013年：函館市内において、実道路交通網、実車両を用いた実証実験を開始
- 2015年：4日間に及び完全自動配車の実証実験を実施、最大30台のSAV車両にて述べ300人以上の乗客（500件以上のリクエスト）の自動処理に成功
- 2016年：東京臨海副都心において過密乗合い実験を実施、中型車6台と40組の乗客の組み合わせを自動制御
- 2017年：長野県上諏訪エリアにおいて、小型車9台、20組のモニター客の観光利用を想定した実験を実施

